

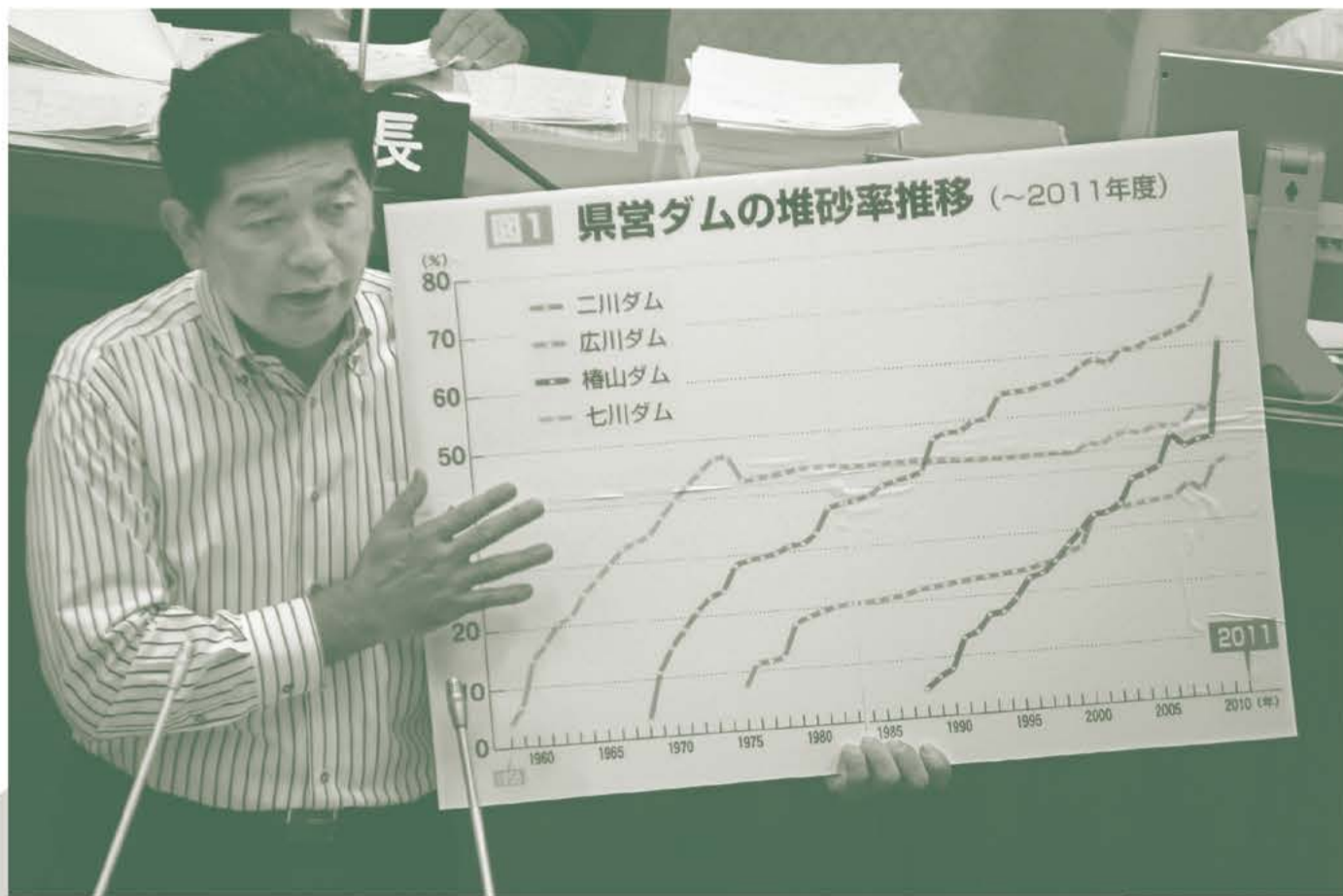


日本共産党 松坂ひでき 県会議員

県政だより

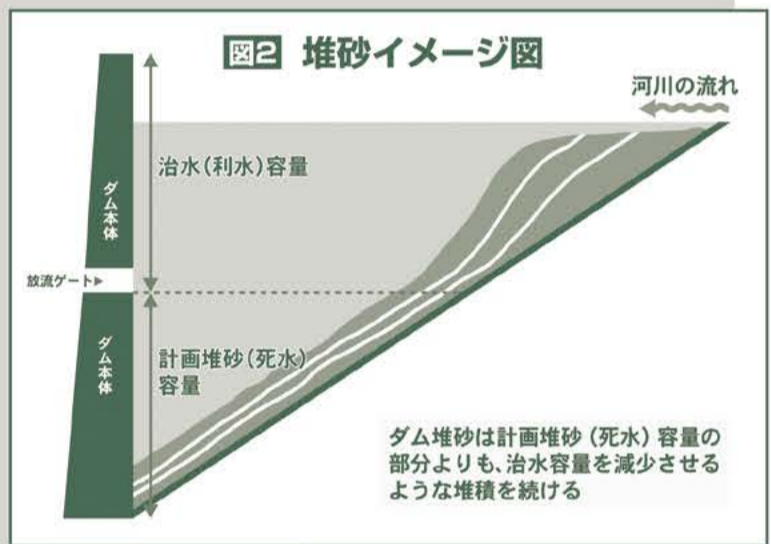
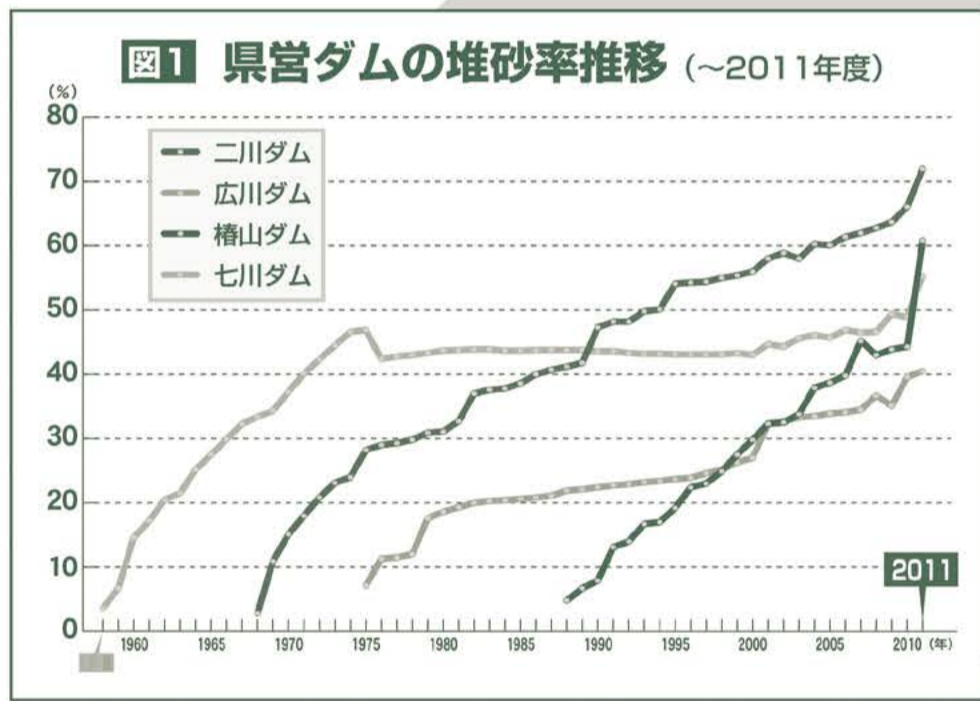
2012年10月号 9月県議会特集 発行 松坂ひでき事務所 有田郡有田川町庄876

# ダム堆砂に本格的な対策を!

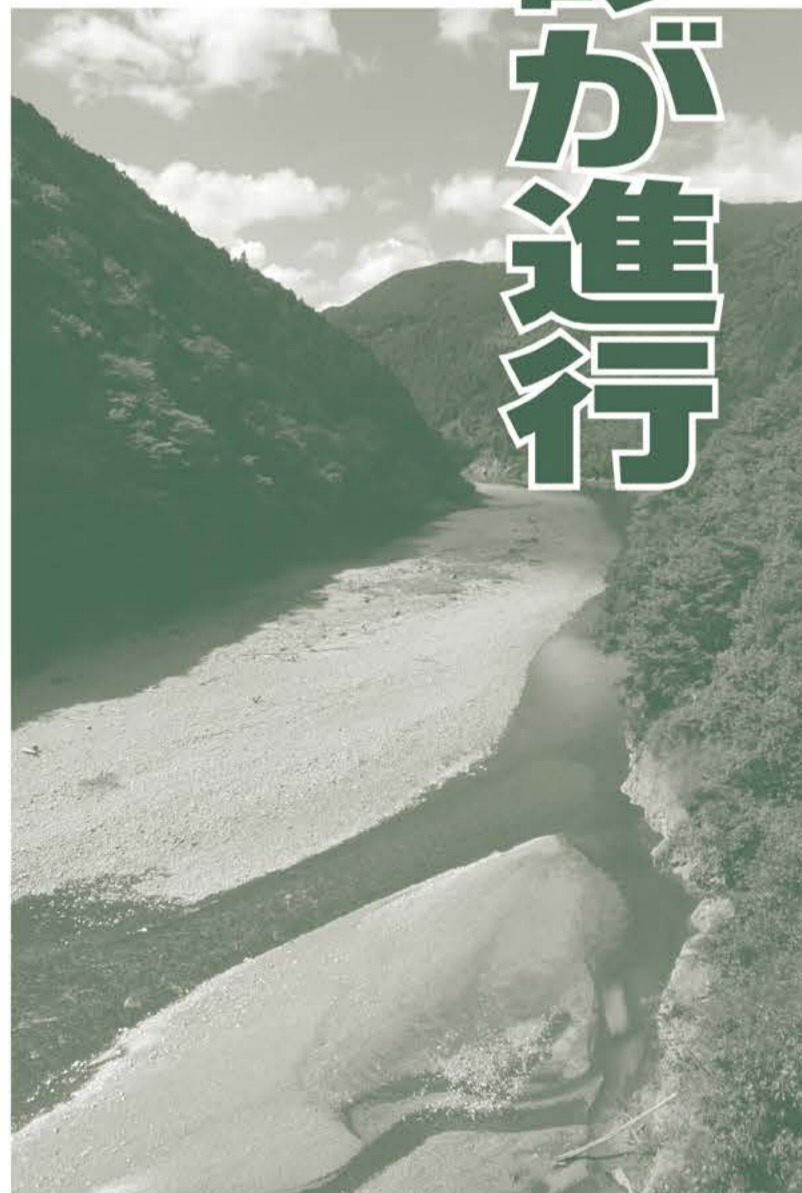


## 昨年の台風で急激に堆砂が進行

松坂県議は今議会、ダム安全対策のダム堆砂(たいしゃ)・ダムにたまる土砂のこの問題で質問し、県当局の対応を迫りました。日置川や熊野川につくられた発電用ダムには、昨年の台風12号により大量の土砂が堆積しました。松坂県議はダム堆砂の推移をグラフに表し、昨年の台風災害で急激に堆砂が進んだことを示しました。このダム堆砂は、ダムの洪水調整能力を低下させ、ダム操作を狂わせるものにもなる重大な問題だと指摘。ダムの治水能力維持向上のためにも堆砂対策を本格化させるべきだと提案しました。実際に七川ダムでは、毎年ダム湖上流部で土砂が堆積し、このままでは、震災と原発事故に苦しむ福島県の実態を視察しました。南相馬市小高区は、やっと4月から立ち入り可能となった原発には、後続の時間が止まったようでした。福島市のモモ農家の方からは、真冬に高圧洗浄機でモモの木を洗う除染の苦勞をお聞きしました。県庁所在地の福島市内でさえ、住宅地の除染作業は始まったばかりでした。家や田畑、お店、家族…人生にかかわる大事な支えを奪われ、住民は先の見えない中で、唇をかみしめて暮らしています。「原発事故さえなければ、少しずつでも復興が進んでいただろう」という想いを強くしました。原発事故は収束どころか拡大・長期化をしているのが福島の実態です。和歌山でも「即時原発ゼロ」をめざして全力で取り組む決意を新たにしました。



このダム堆砂は、ダムの洪水調整能力を低下させ、ダム操作を狂わせるものにもなる重大な問題だと指摘。ダムの治水能力維持向上のためにも堆砂対策を本格化させるべきだと提案しました。実際に七川ダムでは、毎年ダム湖上流部で土砂が堆積し、このままでは、震災と原発事故に苦しむ福島県の実態を視察しました。南相馬市小高区は、やっと4月から立ち入り可能となった原発には、後続の時間が止まったようでした。福島市のモモ農家の方からは、真冬に高圧洗浄機でモモの木を洗う除染の苦勞をお聞きしました。県庁所在地の福島市内でさえ、住宅地の除染作業は始まったばかりでした。家や田畑、お店、家族…人生にかかわる大事な支えを奪われ、住民は先の見えない中で、唇をかみしめて暮らしています。「原発事故さえなければ、少しずつでも復興が進んでいただろう」という想いを強くしました。原発事故は収束どころか拡大・長期化をしているのが福島の実態です。和歌山でも「即時原発ゼロ」をめざして全力で取り組む決意を新たにしました。



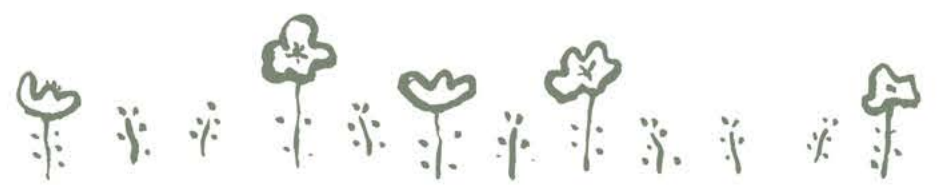
▲ダム湖に堆積した土砂 (二川ダム)

## 福島調査 原発事故の影響も深刻



福島市のモモ農家の方からは、真冬に高圧洗浄機でモモの木を洗う除染の苦勞をお聞きしました。県庁所在地の福島市内でさえ、住宅地の除染作業は始まったばかりでした。家や田畑、お店、家族…人生にかかわる大事な支えを奪われ、住民は先の見えない中で、唇をかみしめて暮らしています。「原発事故さえなければ、少しずつでも復興が進んでいただろう」という想いを強くしました。原発事故は収束どころか拡大・長期化をしているのが福島の実態です。和歌山でも「即時原発ゼロ」をめざして全力で取り組む決意を新たにしました。

松坂県議と共産党県議団は9月3日・4日と、震災と原発事故に苦しむ福島県の実態を視察しました。南相馬市小高区は、やっと4月から立ち入り可能となった原発には、後続の時間が止まったようでした。福島市のモモ農家の方からは、真冬に高圧洗浄機でモモの木を洗う除染の苦勞をお聞きしました。県庁所在地の福島市内でさえ、住宅地の除染作業は始まったばかりでした。家や田畑、お店、家族…人生にかかわる大事な支えを奪われ、住民は先の見えない中で、唇をかみしめて暮らしています。「原発事故さえなければ、少しずつでも復興が進んでいただろう」という想いを強くしました。原発事故は収束どころか拡大・長期化をしているのが福島の実態です。和歌山でも「即時原発ゼロ」をめざして全力で取り組む決意を新たにしました。





県会議員  
松坂ひできの

# 東奔西走!



●湯浅まつり花火大会  
(8月19日)



●ふれあい夏祭り  
(広川町民体育館  
8月19日)



●原発再稼働に反対するデモ行進です  
(8月17日・9月29日  
有田川町県道ハイパス)



●第15回を迎えた「おがわまつり祭り」  
(小川小学校  
8月14日)



●清水中央商店街の観光案内所「まるごと清水庵」  
(8月15日)

# 情報公開に逆行です!



今議会には、これまで無料だった情報公開閲覧

## 閲覧手数料導入の改正案に 反対

手数料を有料化する条例改正案が提案されました。これまで情報公開の資料交付にはコピー代実費程度が必要でしたが、閲覧は無料でした。

全国的にも閲覧を有料にしているのは東京都と香川県の2都県だけです。有料だった静岡県も無料となり、国の情報公開法も原則無料化の法律案が国会で審議されています。このように、閲覧有料化は時代に逆行し「知る権利」を侵害するものと批判されています。

和歌山県と県内市町村は、全国的には情報公開度がまだまだ低いと評価されています。行政の透明度をより高めてゆくことが、無駄遣いや間違っただお金の使い方を正し、県にとっても県民にとっても利益になるのではないのでしょうか。

# 定時制・通信制教育の充実を

共産党県議団で定時制・通信制高校の現状を視察  
(きのくに青雲高校 8月23日)



この度県教委は、夜間定時制の海南高校下津分校と南紀高校さみ分校の募集を来春から停止すると発表しました。入学者数が2年連続で定員の2割を切ったからという



のがその理由です。

松坂県議は、これらの高校が少人数での教育環境を生かし、不登校や発達障害、対人関係など様々な課題をかかえた子どもたちの学びなおしの場として先進的な役割を果たしてきたと指摘。こうした学習の場をどう保障してゆくのかと質問しました。

また合わせて、近年受験者数が増え続けている、昼間定時制の設置・募集の拡大や、通信制高校の教育条件整備の充実を訴えました。

## 松坂県議の9月議会質問

本会議(9月19日)

- 1、ダムの堆砂対策
    - ①ダムの堆砂状況
    - ②防災対策とともに台風12号災害による堆砂量増大対策を
    - ③ダム湖上流河川の堆積土砂撤去を
  - 2、教育問題
    - ①夜間定時制2校の来年度募集停止について
    - ②県内定時制・通信制高校の現状と課題
    - ③定時制・通信制教育の充実を
  - 3、情報公開条例改正案について
    - ①和歌山県の情報公開状況について
    - ②条例改正案の背景と目的について
    - ③「不適正な開示請求」対策について
    - ④知る権利の保障と「コスト問題」
- 建設委員会(9月25日)
- 1、災害対策等緊急事業推進費の事業について
  - 2、秋葉山プールの工事変更契約について
  - 3、江上川の改修について

